

## ドイツ語 (初級 B) / A ドイツ語 第 18 回 動詞の 3 基本形

\* 授業の進み方は教科書の順序とやや異なる。シラバスも参照。

範囲: 教科書第 11 課 A (S. 43-45)

.....  
.....  
.....  
..... なし  
.....  
.....

### 《今回の基本例文》

## ☆ 動詞の 3 基本形: 不定詞、過去基本形、過去分詞

### A. 動詞の 3 基本形 (S. 43)

#### 補足 動詞の 3 基本形とは

◇ 不定詞、過去基本形、過去分詞の 3 つを **動詞の 3 基本形** という。

\* 英語における原形、過去形、過去分詞の 3 つと同じ。

\*\* ただし、ドイツ語では原形のことを不定詞と呼び (すでに学習した)、過去形も人称変化するため 1 人称単数のかたちを過去基本形と呼んでいる。過去形の人称変化については教科書第 12 課で扱う。

◇ 3 基本形の役割は、

- ・不定詞: 話法の助動詞やそれに準ずる動詞と併用 (すでに学習した)、  
未来形に使用 (⇒教科書第 12 課)、zu 不定詞として使用 (教科書第 16 課)
- ・過去基本形: 過去形 (⇒教科書第 12 課) に使用
- ・過去分詞: 現在完了形、過去完了形 (⇒教科書第 12 課)、受動態 (⇒教科書 14 課) に使用、形容詞  
として (⇒教科書第 11 課) 使用

があり、ほぼ英語と同じと考えてよい。今学期はこれらを学んで行く。

◇ 3 基本形のつくり方には、やはり規則変化と不規則変化があり、規則変化を弱変化と呼び、不規則変化を強変化と混合変化に分ける。 sein、haben、werden も不規則変化だが、これらとは別枠と考える。

#### 《動詞の 3 基本形の分類》

規則変化 = 弱変化  
不規則変化 ⊥ 強変化  
└ 混合変化  
└ sein, haben, werden

### 1 規則変化動詞 (弱変化動詞)

#### 《規則変化動詞 = 弱変化動詞の 3 基本形の公式》

不定詞: 語幹 + en / n

過去基本形: 語幹 + te

過去分詞: ge + 語幹 + t

・英語と異なり、過去分詞に接頭辞 ge- がつくところに注意。

- ◇ 弱変化動詞は完全な規則変化なので、規則だけ覚えればよい。
  - ・ hören の3基本形： hören - hörte - gehört （←語幹が hör）
  - ・ ändern の3基本形： ändern - änderte - geändert （←語幹が änder）
    - \* こうした語尾が-enではなく-nの動詞も、考え方は同じ。
- ◇ 語幹が-t や-d で終わるもの（教科書S.9の arbeiten 型）については、例えば arbeiten を例にとると、単に語幹+teだと\*arbeitte や\*gearbeitt となって発音しづらいため、語調を整える e を挿入し、
  - ・ arbeiten の3基本形： arbeiten - arbeitete - gearbeitetとする。日本語の感覚だと過去基本形が-tete となるのは奇妙に感じるかもしれないが、これで正しい。

### 補足練習問題 1

次の動詞の3基本形を答えよ（すべて教科書既出の規則動詞）。

1. lernen \_\_\_\_\_
2. lieben \_\_\_\_\_
3. kaufen \_\_\_\_\_
4. küssen \_\_\_\_\_
5. tanzen \_\_\_\_\_
6. legen \_\_\_\_\_
7. machen \_\_\_\_\_
8. stellen \_\_\_\_\_
9. reisen \_\_\_\_\_
10. waschen \_\_\_\_\_
11. kosten \_\_\_\_\_
12. antworten \_\_\_\_\_
13. angeln \_\_\_\_\_
14. wandern \_\_\_\_\_

### 2 不規則変化動詞

- ◇ 以下、本日の別紙「**不規則変化動詞のまとめ**」も参照。
- ◇ a) **強変化動詞**は、
  - ・ 語幹の母音を変化させて語尾を加えないかたちを過去基本形、語幹の母音を変化させて語頭に ge-、語尾に -en を加えたかたちを過去分詞とする。語幹の母音のみならず子音も変化するものもある。

#### 《不規則変化動詞の1つ、強変化動詞の3基本形》

不定詞：語幹 + en / n

過去基本形：○○

過去分詞：ge + XX + en

・ ○○やXXは語幹と同じではない場合がほとんどで、要するに完全な不規則変化。

・ これらに関しては、遺憾ながら丸暗記するしかない。

\* 英語で  *speak - spoke - spoken...* などと唱えて覚えたのと同じ。

◇ b) **混合変化動詞**は、

- ・語幹の母音を変化させて語尾-teを加えたかたちを過去基本形、語幹の母音を変化させて語頭にge-、語尾に-tを加えたかたちを過去分詞とする。

**《不規則変化動詞の1つ、混合変化動詞の3基本形》**

不定詞：語幹 + en

過去基本形：○○ + te

過去分詞：ge + ○○ + t

- ・語幹が○○に変化する点で強変化と同じ、過去基本形の語尾が-teで過去分詞の語頭と語尾がそれぞれge-, -tという点で弱変化と同じなので、混合変化と呼んでいる。

- ・混合変化動詞の数は少なく、全部で9種類しかない。ただし、6種類ある話法の助動詞は基本的に混合変化であり、それを加えると15種類になる。（⇒教科書S.48）

◇ c) **sein, haben, werden**については、教科書S.44の表のまま覚える。

- ・seinの3基本形：**sein - war - gewesen**
- ・habenの3基本形：**haben - hatte - gehabt**
- ・werdenの3基本形：**werden - wurde - geworden**

\* これらは分類不可能だが、seinとwerdenは強変化に、habenは混合変化に近いといつてよい。

◇ 不規則変化動詞の3基本形は、教科書や辞書の巻末の変化表に記載されている。不規則動詞は全部で200個弱あるとされるが、教科書の変化表にあるのは125個で、そのうち50個が緑地になっている。この授業では、その緑地の50動詞を中心に覚えてもらう。

\* 変化表では、教科書第3課Aで学んだa → ä型やe → i/e型のような、不規則な現在人称変化についても記載されている。

**3 分離動詞の3基本形 4. 過去分詞の形態についての注意** (S.44)

◇ 分離動詞および非分離動詞の過去基本形、過去分詞は、基礎動詞（前綴りをとった動詞本体）をもとにつくる。基本公式は以下の通り。

	過去基本形	過去分詞
分離動詞	基礎動詞の過去基本形 前綴り	前綴り + 基礎動詞の過去分詞
非分離動詞	前綴り + 基礎動詞の過去基本形	前綴り - ge + 基礎動詞の過去分詞

要するに、非分離動詞の過去分詞にはgeがつかない。

◇ 分離動詞や非分離動詞の3基本形に関しては、次のような回路で考えればよい。

- ・分離動詞 **ab|reisen** は、abが前綴り、reisenが基礎動詞である。
  - **reisen** は規則変化動詞なので、3基本形は **reisen - reiste - gereist** である。
  - よって、上の基本公式から、**abreisen** の3基本形は **abreisen - reiste ab - abgereist**。
- ・分離動詞 **an|fangen** は、anが前綴り、fangenが基礎動詞である。
  - **fangen** は不規則変化動詞、3基本形は **fangen - fing - gefangen**（巻末の変化表を参照）。
  - よって、上の基本公式から、**anfangen** の3基本形は **fangen - fing an - angefangen**。
- ・非分離動詞 **verstehen** は、ver-が前綴り、stehenが基礎動詞である。
  - **stehen** は不規則動詞、3基本形は **stehen - stand - gestanden**（巻末の変化表を参照）。
  - よって、上の基本公式から、**verstehen** の3基本形は **verstehen - verstand - verstanden**。

◇ **beginnen** の基礎動詞である **ginnen** は、いまは使われておらず辞書にも掲載されていないが、過去にはきちんと存在していた。このため、**beginnen** も非分離動詞であり、過去分詞には **ge-** がつかず **begonnen** となる。ほか **vergessen**、**verlieren** などが似た事例。

◇ 外来語由来に由来する **-ieren 型動詞** (**-ieren** で終わる動詞) も、過去分詞に **ge-** がつかない。

### 補足練習問題 2

次の動詞の 3 基本形を答えよ (教科書既出ではない動詞には意味を付す)。

1. aus|füllen \_\_\_\_\_
2. zu|machen \_\_\_\_\_ (vt. ~を閉める)
3. auf|stehen \_\_\_\_\_
4. an|rufen \_\_\_\_\_
5. mit|bringen \_\_\_\_\_
6. um|steigen \_\_\_\_\_
7. zurück|geben \_\_\_\_\_
8. bedauern \_\_\_\_\_
9. begegnen \_\_\_\_\_
10. vereinigen \_\_\_\_\_ (vt. ~を統一する)
11. bekennen \_\_\_\_\_ (vt. ~を認める、告白する)
12. bekommen \_\_\_\_\_ (vt. ~を得る、=get)
13. entsprechen \_\_\_\_\_ (vi. 〈3格〉に対応する)
14. philosophieren \_\_\_\_\_ (vi. 哲学的に思索する、哲学する)
15. produzieren \_\_\_\_\_ (vt. ~を生産する)

### 練習問題の補足

#### Übung 1 (S. 45)

6~8, 10~12. 分離動詞や非分離動詞の 3 基本形については、まず不定詞から前綴りを除いて基礎動詞を摘出して考える。**gefallen** (非分離動詞) なら **fallen**、**an|schauen** なら **schauen** の 3 基本形を書き出してみて、そこに **3** や **4** の要領で前綴りを加え直す。

9. **vergessen** については、過去分詞は非分離動詞に準ずる。

#### Übung 2 (S. 45)

2. 前綴りの **voll-** は、分離動詞の前綴りである場合と非分離動詞の前綴りである場合の両方がある。この **vollenden** は後者。

4, 6, 9, 10. やはり分離動詞および非分離動詞の問題なので、上記 Übung 1 の 6~8, 10~12 の要領で考えること。

### 連絡先など

教員のメールアドレス: [tokan@nifty.com](mailto:tokan@nifty.com) 授業のウェブサイト (進捗表示、配付資料あり): <http://hhasegawa.la.coocan.jp/lecture/>